

令和2年12月14日

陳情第51号

河川河床の適正管理を求める陳情

河川河床の適正管理を求める陳情

【陳情趣旨】

11月下旬に、小田原市から「津波ハザードマップ」（基準水位）と「洪水ハザードマップ」が自治会経由で配布されました。非自治会世帯への配布がされたのか不明ですが、陳情者の居住地域は津波と洪水のいずれにも被害が想定されるものとして記載されています。近隣の西湘テクノパーク内の企業・事業所へはこれらハザードマップは配布されていないようです。

この2つのハザードマップを見ると、海岸沿いと川沿いの水害を想定していることは理解できますが、台風であれば来る前から減災対策できることもあります。少なくとも、河川の河床は土砂等の堆積によって上がることがわかっています。一定期間を定めるか、一定の水位（堤防の最上部から水面までの季節ごとの通常の高さ）を規定するなどして、適正な河川水位を維持することで、河川の氾濫を一定程度予防し減災できるはずです。

現在、飯泉橋から下流方向を見ると、酒匂川の河床が随分と上がり堆積した土砂が水面を超えている状態です。今年は、例年よりも土砂搬出が少なかったのでしょうか。

神奈川県が管理する河川や小田原市が管理する河川がありますが、相互に連絡連携して河川河床を適正管理していることを明示することも、ハザードマップ同様に必要であると考えます。

【陳情項目】

小田原市議会として、小田原市長に対して、神奈川県と連絡連携して市内河川の河床を適正に管理することを求めること。

令和2年12月14日

小田原市議会議長

奥山 孝二郎 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞